

女性の就業に関する1万人調査 – 20～49歳の既婚・子供あり女性【就業者編】 2013年と2019年の比較 –

「転勤が無いこと」の重視は変わらず、「休暇をとりやすいこと」が重視項目として上昇



【全体概要】

○就業率は52.4%、非就業者のうち「すぐにでも職業をもちたい」は9.2% [P3]

本レポートの分析対象である20～49歳の既婚・子供あり女性のうち、仕事をしていない人は47.6%で2013年調査よりも減少した。非就業者で「職業をもつつもりはない」は23.5%で、就業意向がある「すぐにでも」「よい仕事があれば」「いずれは」職業をもちたい人はあわせて7割を超えている。

○結婚や出産による退職が減り、「子供ができて産休・育児休暇を取得し、就業継続」が増加[P3]

「結婚して退職、結婚後無職」34.2%や「結婚して退職、結婚後転職」30.3%が2013年調査より減少した。一方、出産・育児は「子供ができて産休・育児休暇を取得し、就業継続」15.8%がもっとも増えており、結婚や出産・育児により職場を退職せずに就業継続する女性が増えていることがうかがえる。

【就業者の実態】

○仕事を選ぶ際の重視項目は「場所」に続き「休日」が上位、「安心」「長く」の環境面も上位に[P4]

「転勤が無いこと」が2013年調査に引き続き1位、また「休暇をとりやすいこと」が2位に上昇した。子育てしながらの就業は時間や場所の制約があるため、場所や休日、時間の重視度合いは変わらず高い。「安心して働けそう」「長く働けそう」といった環境面も上位に入った。

○通勤時間は現在も理想も「自宅から徒歩圏内」「自宅から自転車圏内」が減少[P5]

現在の通勤時間は2013年調査は「自宅から自転車圏内」がもっとも多かったが今回は「自宅から電車やバスや自家用車で15分以内」23.0%がもっとも多い。理想も同様に「自宅から電車やバスや自家用車で15分以内」がもっとも多い。

○理想とする休日の日数は「週休3日」が減り、「週休2日」が増加[P6]

現在の休日は「週休2日」62.3%がもっとも多い。「週休3日」「週休4日以上」はいずれも2013年調査より減少。理想をみても、「週休3日」「週休4日以上」は減少しており、「週休2日」が増えている。

※仕事を選ぶ際の重視項目で「休暇をとりやすいこと」が2位だったが、休日の日数の多さではなく、急な休みにも対応してもらえるといった柔軟性が重視されていると考えられる。

○始業時間「9時台」54.3%、終業時間「17時台」33.5%を理想とする意見は変わらず多い[P6～7]

現在の始業時間は「9時台」42.9%がもっとも多く、2013年調査と同程度である。「8時台」が増え、10時台以降は減少傾向にある。理想も「9時台」がもっとも多い。終業時間は「17時台」が現在も理想ももっとも多い。2013年調査よりも「18時台」「19時以降」が減少している。

※本調査（2019年）の詳細は「女性の就業に関する1万人調査」基本報告書をご覧ください。

https://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20190404_1116.html

お問い合わせ先 <http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html>

調査概要

調査名	女性の就業に関する1万人調査
調査目的	女性の就業実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
調査期間	2019年2月5日～2019年2月20日
対象者条件	全国18～64歳の女性
有効回答数	10,000人（スクリーニング調査での出現にあわせて年齢・就業状況で割付）

レポートの分析対象

- 20～49歳のうち、働き方の影響を受ける「同居している子供の有無」や婚姻状況でセグメントし、「既婚・子供あり」を分析対象とする。また、**本レポートでは就業者を対象**とする。

全体 n=10,000			
20歳未満 (n=298)		20～49歳 (n=6,348)	50歳以上 (n=3,354)
同居している子供の有無			
		子供あり	子供なし
婚姻状況	既婚	既婚・子供あり (n=2,147) 就業者 n=1,124 非就業者 n=1,023	既婚・子供なし n=977
	離婚・未婚	子供あり (既婚除く) n=304	

- 2013年に実施した「主婦の就業に関する1万人調査」のうち、上記定義同様の「既婚・子供あり」n=4,281を比較分析対象とする。本レポートは20～49歳既婚・子供あり女性の変化を明らかにすることを目的としているため、就業者はすべての雇用形態を対象としている。雇用形態による影響の詳細はここではみていない。（以下本文で2013年調査と表記する場合は下記対象）

		正社員	契約社員	アルバイト	パート	派遣	会社委託、経営	フリーラン	その他	現在いない
n=										
既婚・子供あり 20～49歳	4281	10.2	2.1	2.7	20.0	1.1	0.9	2.4	1.3	59.3 (%)
就業者n=1,741										

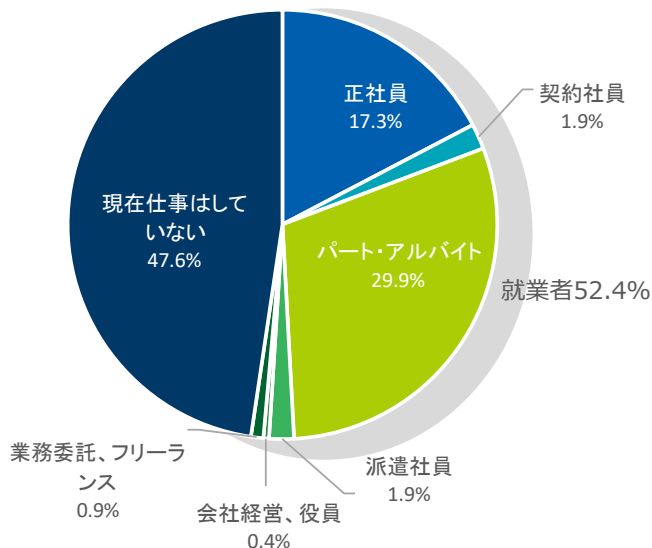
※調査結果は小数点第二位を四捨五入のため、TOTALが100%にならない場合がある

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 全体概要 (n=2,147)

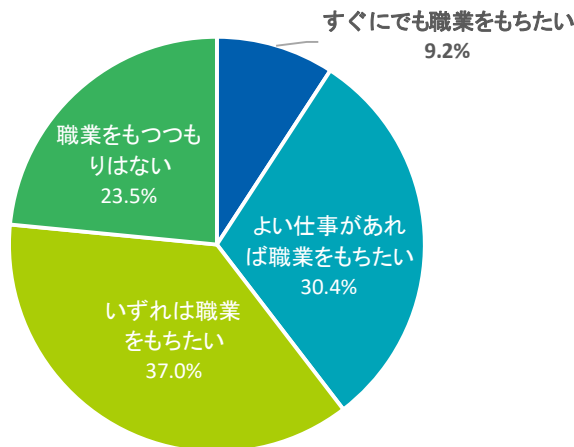
■ 就業状況

全体のうち47.6%が「現在仕事はしていない」状態で、今後の就業意向は「いずれは職業をもちたい」37.0%がもっとも多かった。就業意向が高い「すぐにも職業をもちたい」は9.2%にとどまる。

■ 今後の就業意向 ※非就業者n=1,023 (左記の47.6%)



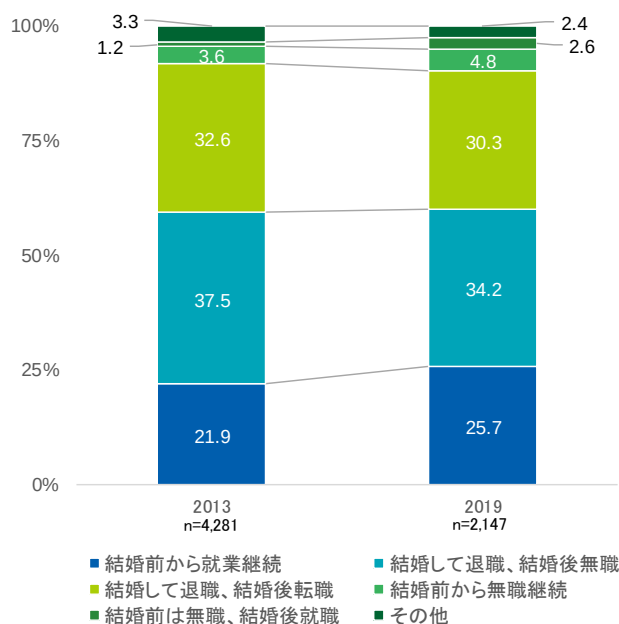
Q：あなたの現在の就業状況について最も当てはまるものをひとつだけお選びください。



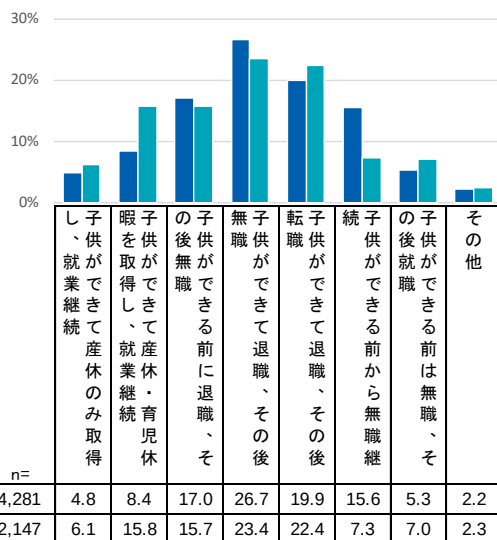
Q：あなたは今後職業をもちたいと思いますか。

■ 結婚、出産・育児と職業

結婚と就業の関係について、2013年調査と比較すると「結婚前から就業継続」25.7%が増え、「結婚して退職、結婚後無職」34.2%や「結婚して退職、結婚後転職」30.3%が減少した。一方、出産・育児は「子供ができて産休・育児休暇を取得し、就業継続」15.8%がもっとも増えており、結婚や出産・育児により職場を退職せずに就業継続する女性が増えていることがうかがえる。



Q：結婚と職業について、あなたの状況に近いものをひとつお選びください。



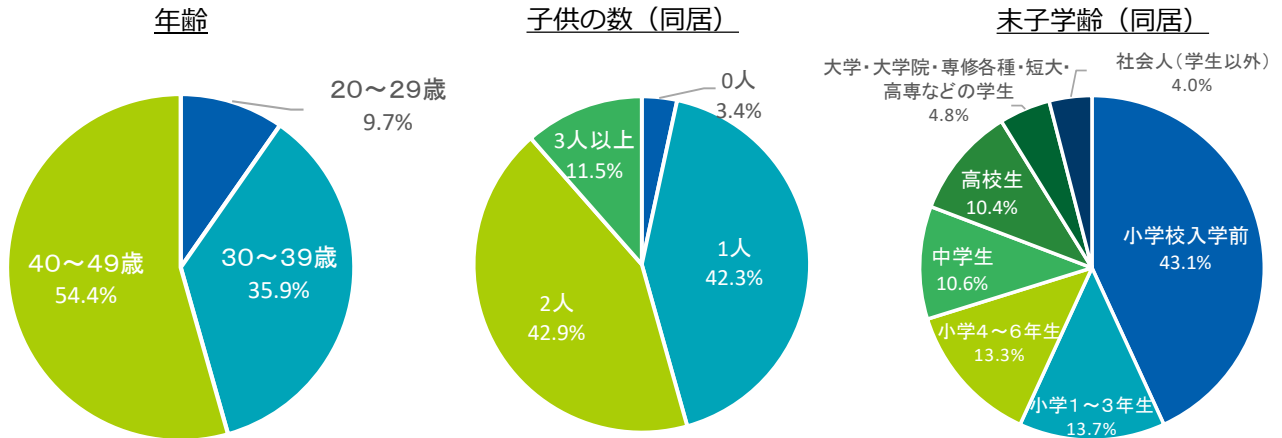
Q：出産・育児と職業について、あなたの状況に近いものをひとつお選びください。

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 就業者（n=1,124）の実態

■基本プロフィール

本レポート分析対象者の年齢は「40～49歳」54.4%がもっとも多く、「30～39歳」35.9%、「20～29歳」9.7%である。同居している子供の数は「2人」「1人」が4割台で同程度。末子学齢は「小学校入学前」が43.1%で最も多い。

※2013年調査の就業者（n=1,741）の年齢は「40～49歳」61.3%、「30～39歳」32.7%、「20～29歳」6.0%



■仕事を選ぶ際の重視項目

※44項目中「たいへん重視する」が選択された上位10項目

就業者が仕事を選ぶ際に重視する項目は、「転勤が無いこと」が2013年調査同様に1位、次いで「休暇をとりやすいこと」「通勤の便が良いこと」と続く。「安心して働けそうであること」「長く働けそうであること」といった環境面も上位にあげられた。「休暇をとりやすいこと」は「休日の日数」（P6）を踏まえると、日数の多さではなく、急な休みにも対応してもらえるといった柔軟性が重視されていると考えられる。

	仕事を選ぶ際の就業条件の重視度	たいへん重視	分類	2013年
1位	転勤が無いこと	33.7%	場所	1位(→)
2位	休暇をとりやすいこと	30.4%	休日	4位(↑)
3位	通勤の便が良いこと	29.6%	場所	2位(↓)
4位	安心して働けそうであること	28.0%	環境	10位(↑)
5位	長く働けそうであること	27.9%	環境	5位(→)
6位	希望する勤務地であること	27.8%	場所	3位(↓)
7位	希望する休日、残業、勤務時間であること	27.1%	休日・時間	8位(↑)
8位	通勤時間が短いこと	26.6%	場所	6位(↓)
9位	希望する職種、仕事内容であること	25.6%	仕事内容	7位(↓)
10位	希望する業種であること	23.5%	仕事内容	9位(↓)

2013年は就業者（n=1,741）

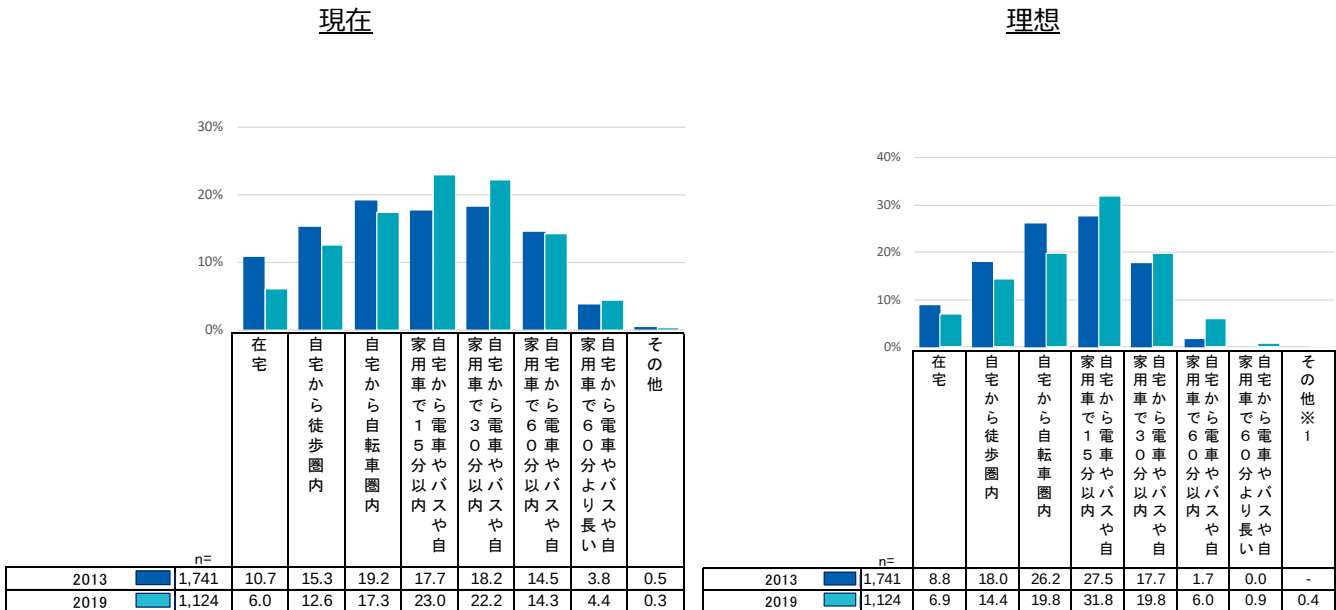
Q：あなたは、仕事を選ぶ際に以下の条件をどの程度重視しますか。

各項目に対し、「たいへん重視する」「重視する」「やや重視する」「あまり重視しない」「まったく重視しない」の5段階で聴取

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 就業者（n=1,124）の実態

働く条件の実態と理想 (1) 通勤時間

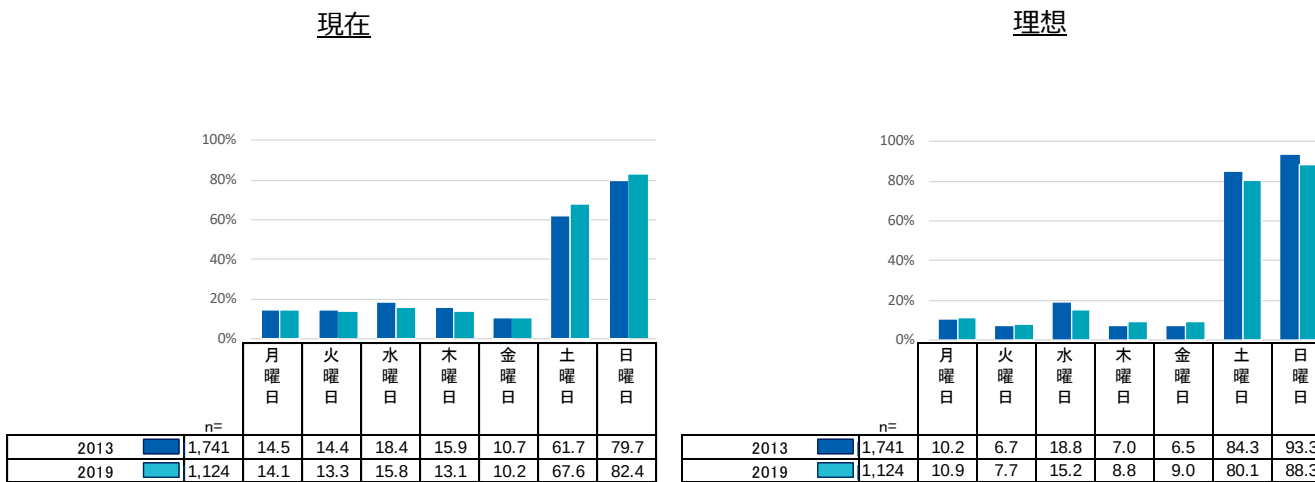
現在の職場までの通勤時間は「自宅から電車やバスや自家用車で15分以内」23.0%がもっとも多く、2013年調査でもっとも多かった「自宅から自転車圏内」よりも範囲が広がっていることがうかがえる。理想も同様に「自宅から電車やバスや自家用車で15分以内」31.8%がもっとも多い。



※2013はその他は非聴取

働く条件の実態と理想 (2) 休日の曜日

現在の職場の休日は「日曜日」82.4%、「土曜日」67.6%が中心で2013年調査と大きく変わらない。理想の休日の曜日も「日曜日」「土曜日」が多く、現在同様に過去との変化はあまりみられない。子供や家族の予定とあうように「日曜日」「土曜日」を休みにしたいというのは変わらないのであろう。



※複数回答

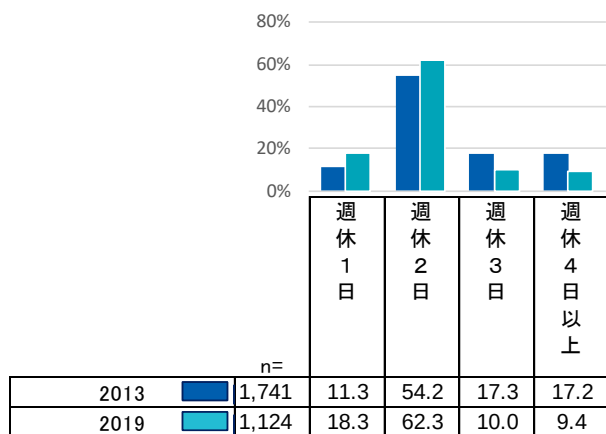
※複数回答

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 就業者（n=1,124）の実態

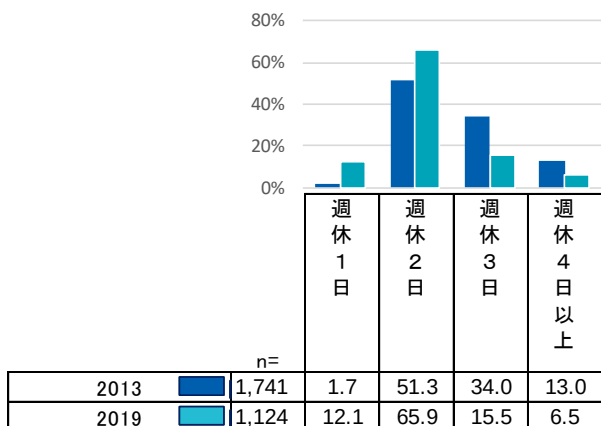
■働く条件の実態と理想 （3）休日の日数

現在の職場の休日は「週休2日」62.3%がもっとも多い。「週休3日」「週休4日以上」はいずれも2013年調査より減少。分析対象の正社員比率があがっている影響が考えられる。理想をみても、「週休3日」「週休4日以上」は減少しており、「週休2日」が増えている。

現在



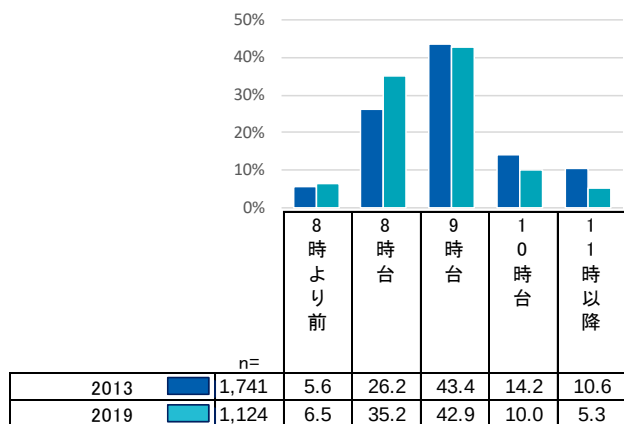
理想



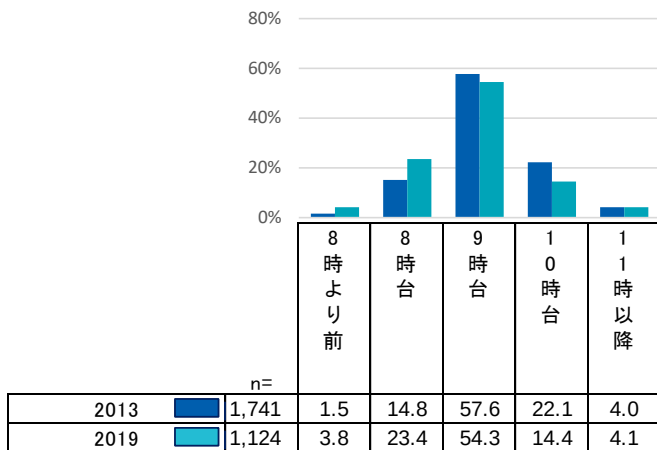
■働く条件の実態と理想 （4）始業時間

現在の職場の始業時間は「9時台」42.9%がもっとも多く、2013年調査と同程度である。「8時台」が増え、10時台以降は減少傾向にある。理想も「9時台」がもっとも多く、次いで「8時台」であり、2013年調査より始業時間は早めの実態と理想がうかがえる。

現在



理想

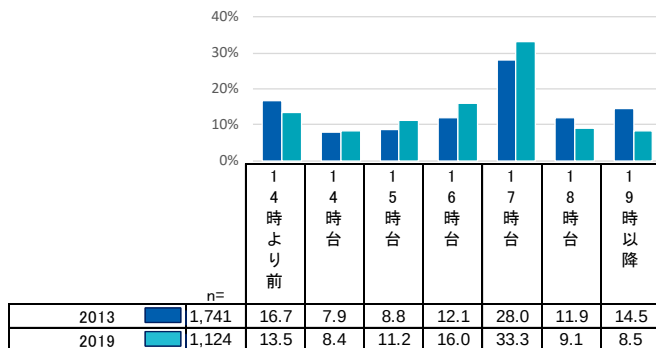


20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 就業者（n=1,124）の実態

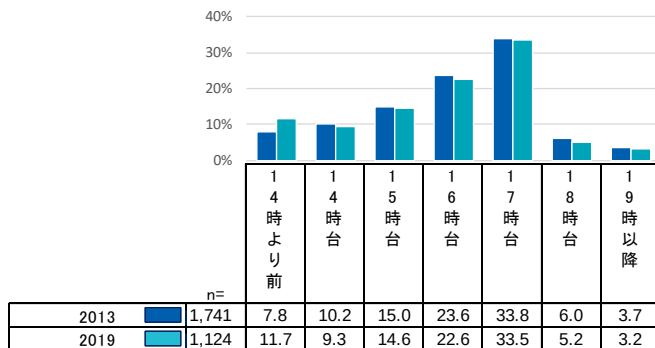
■働く条件の実態と理想 (5) 終業時間

現在の職場の終業時間は「17時台」33.3%がもっとも多い。2013年調査よりも「18時台」「19時以降」が減少している。理想も「17時台」がもっとも多く、「16時台」「15時台」と続く。18時台以降が大幅に減少するのは2013年同様である。

現在



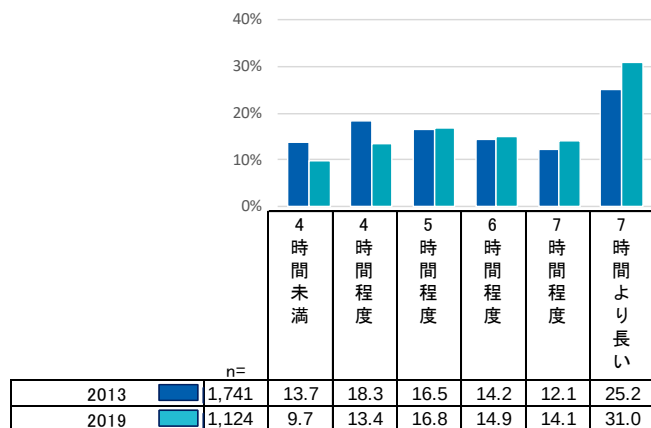
理想



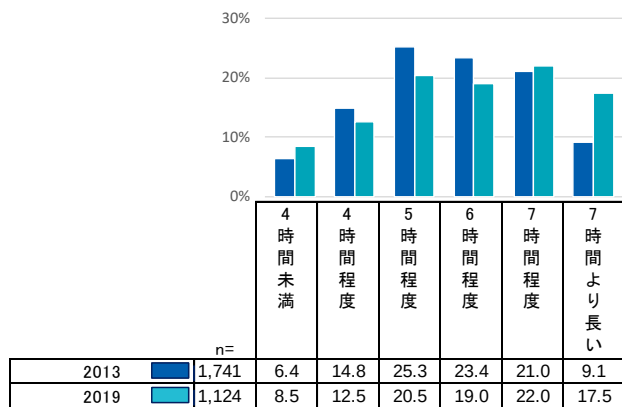
■働く条件の実態と理想 (6) 一日の就業時間

現在の職場の一日の就業時間は「7時間より長い」がもっとも多い。「5時間程度」「6時間程度」は2013年調査と同程度だが、「4時間未満」「4時間程度」は減少し、就業時間は以前より長くなった人が多いと考えられる。理想は「7時間程度」「5時間程度」が2割程度で多い。「7時間より長い」を理想とする人が増えている。

現在



理想

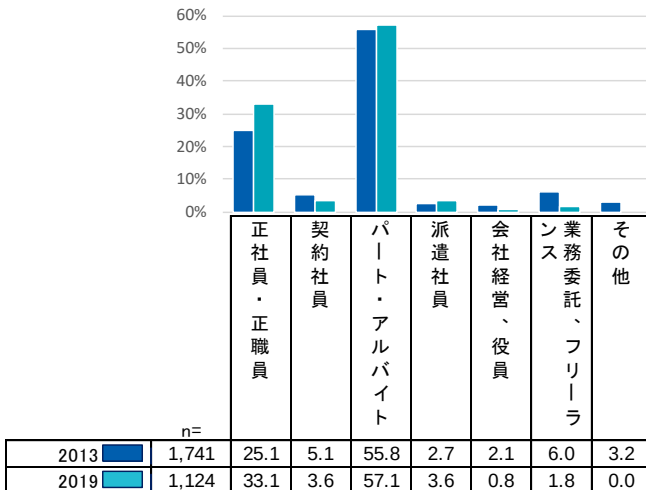


20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 就業者（n=1,124）の実態

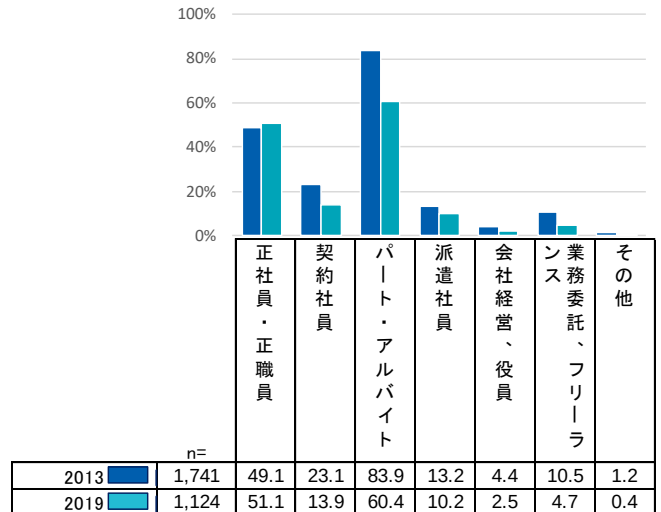
■働く条件の実態と理想 (7) 雇用形態

現在働いている雇用形態は「パート・アルバイト」57.1%がもっとも多い。「正社員」33.1%は2013年調査より増えた。産休・育休を取得し就業継続の女性が増えていることも影響しているだろう（参照P3）。理想も「パート・アルバイト」「正社員」が多いが、「パート・アルバイト」は2013年調査より減少した。

現在



理想

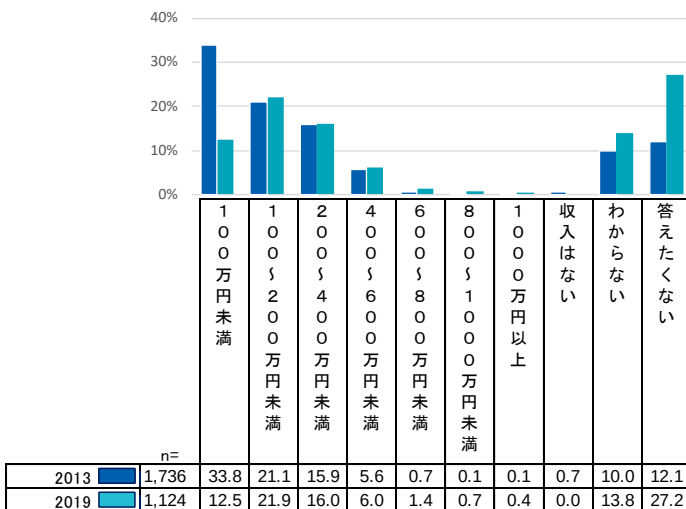


※複数回答

■働く条件の実態と理想 (8) 年収

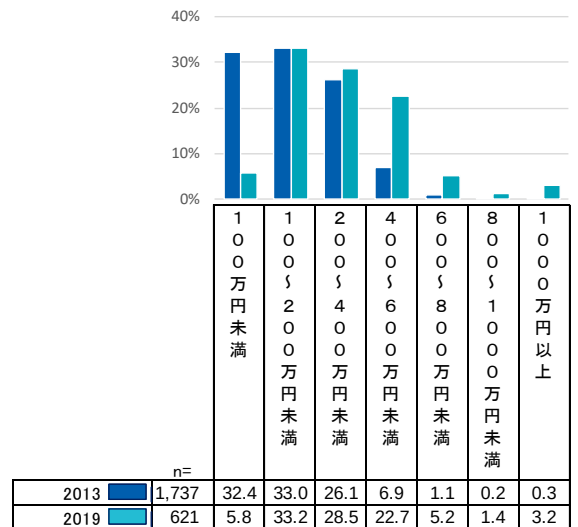
現在の年収は「100～200万円未満」「200～400万円未満」「100万円未満」が1～2割でボリュームゾーン。理想は2013年調査と比べると「100万円未満」が減少し、「400～600万円未満」が増えている。対象者の正社員割合が増えたことに加え、社会保険の適用拡大や配偶者控除、配偶者手当の見直し等の動きも影響していることが考えられる。

現在



※1 2013は有効回答ベースで再集計している。

理想



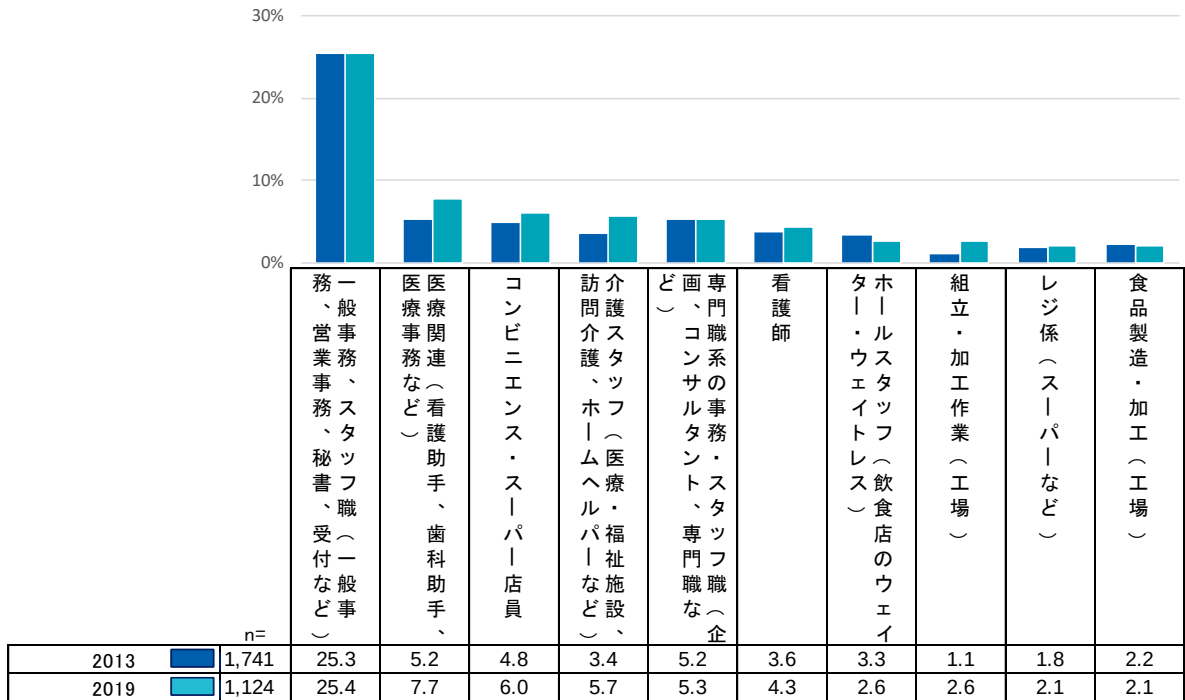
※1 2013は「わからない」「答えたくない」非聴取のため、2019もあわせて再集計。

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 就業者（n=1,124）の実態

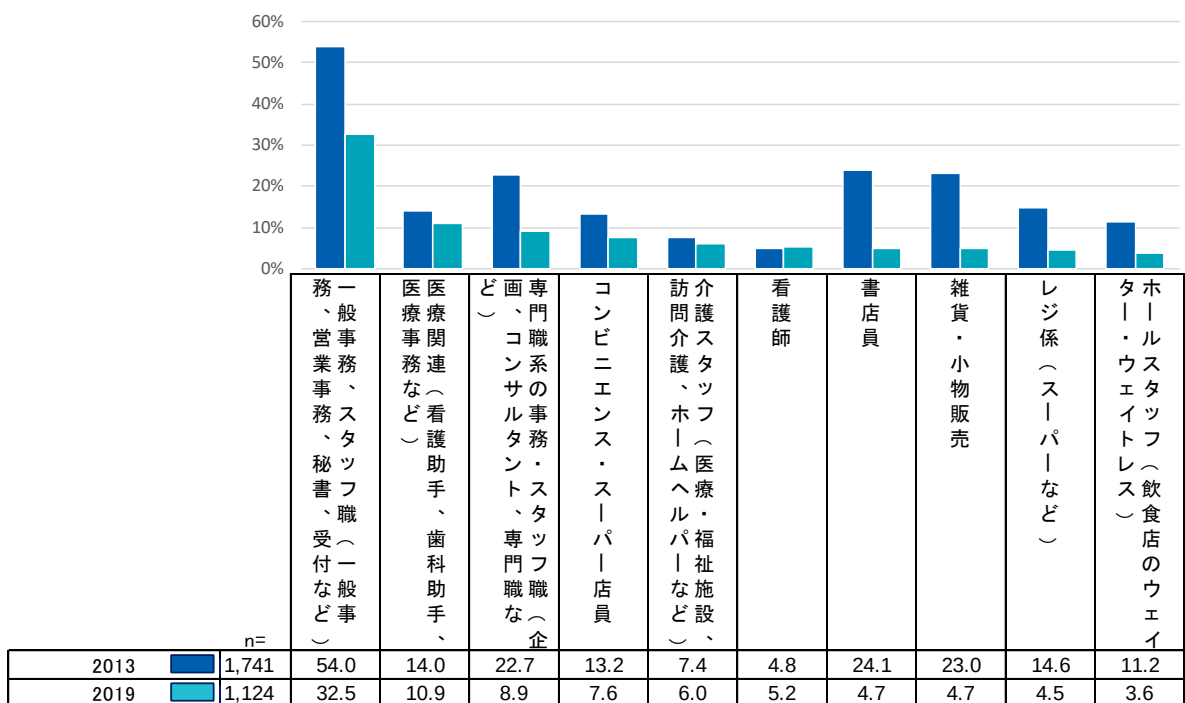
■働く条件の実態と理想 (9) 職種 (2019年上位10項目)

現在働いている職種は「一般事務、スタッフ職」25.4%がもっとも多く、「医療関連」「コンビニエンス・スーパー店員」と続く。2013年調査と大きな傾向は変わらない。理想も同じく「一般事務、スタッフ職」がもっとも多い。2013年調査よりも「一般事務、スタッフ職」で働く実態と理想の差は縮まっている。

現在



理想



※複数回答

■ やりがいを感じる状況 (複数回答)

	2019年	(%)	2013年
1位	◎ 人に感謝されたとき	42.3	1位(→)
2位	○ 与えられた仕事をミスなくこなしたとき	39.7	2位(→)
3位	◎ 上司に褒められたとき	31.1	3位(→)
4位	● 責任ある仕事を任されたとき	26.9	5位(↑)
5位	○ 自分の目標を達成したとき	26.7	4位(↓)
6位	◎ 同僚に褒められたとき	21.4	6位(→)
7位	☆ 報奨金・臨時ボーナスなどを得たとき	21.3	7位(→)
8位	☆ 昇給したとき	20.8	8位(→)
9位	● 上司に頼られたとき	18.7	9位(→)
10位	● 同僚に頼られたとき	15.2	11位(↑)
11位	◎ 自分についての良い風評を耳にしたとき	15.0	10位(↓)
12位	○ 新しいアイデアを形にしたとき	13.4	12位(→)
13位	○ 世の中に役立つことがわかったとき	12.5	15位(↑)
14位	◎ 昇格したとき	11.7	14位(→)
15位	● 部下・後輩に頼られたとき	11.5	12位(↓)
16位	○ わき目も振らず仕事に集中しているとき	10.5	16位(→)
17位	※ できる人と仕事をしているとき	9.6	18位(↑)
18位	● 組織の目標を達成したとき	9.3	19位(↑)
18位	● 失敗や困難を克服したとき	9.3	17位(↓)
20位	◎ 何か表彰されたとき	9.0	20位(→)
21位	◎ 経営者から声を掛けられたとき	6.1	21位(→)
22位	※ 好きな人と一緒に仕事をしているとき	5.5	23位(↑)
23位	○ 前例のないことに挑戦しているとき	4.0	22位(↓)
24位	◎ 自分の仕事が社内報などのメディアに取り上げられたとき	3.0	24位(→)
	やりがいを感じたことはない	6.7	

◎ 他者からの承認
○ 自己承認
● やりがい
☆ 報酬
※ その他

2013年は就業者(n=1,741)

■ やりがいを失う状況 (複数回答)

	2019年	(%)	2013年
1位	◎ 不合理な理由で叱責されたとき	26.4	1位(→)
2位	◎ 評価に差別を感じたとき	25.9	2位(→)
3位	◎ 自分の仕事の成果を認めてもらえないとき	25.4	3位(→)
4位	☆ 成果に見合った報酬が得られないとき	23.4	6位(↑)
5位	◎ 期待されていないと感じたとき	22.4	4位(↓)
6位	※ セクシャルハラスメントやパワーハラスメントにあったとき	21.7	9位(↑)
7位	○ 失敗したとき	20.7	5位(↓)
8位	◎ 自分以外の人へのひいきがあったとき	20.3	7位(↓)
9位	● 意味がわからない仕事をさせられたとき	20.1	8位(↓)
10位	※ 忙しすぎるとき	16.8	10位(→)
11位	※ できない人と仕事をしているとき	12.2	12位(↑)
12位	※ 気の合う人が自分のまわりにいないとき	11.5	11位(↓)
13位	● 仕事の難易度が高すぎるとき	11.0	15位(↑)
14位	● 成果を独り占めされたとき	9.8	12位(↓)
15位	● 責任ある仕事を任せられないとき	8.8	14位(↓)
16位	● 業務上の情報がオープンになっていないとき	8.3	16位(→)
16位	● 自分の能力や適性を活かせない仕事をさせられたとき	8.3	17位(↑)
18位	● 意思決定のプロセスが不透明なとき	8.1	18位(→)
19位	◎ 過剰な気遣いをされたとき	5.0	19位(→)
20位	☆ 評価上の特例があったとき	4.9	21位(↑)
21位	● 高い水準の仕事に挑戦させてもらえないとき	3.2	20位(↓)
	その他	0.6	
	やりがいを失ったことはない	8.2	

◎ 他者からの承認
○ 自己承認
● やりがい
☆ 報酬
※ その他

2013年は就業者(n=1,741)